

バーチャル世界におけるユートピアに関する研究

日大生産工(学部) ○會田 悠純

日大生産工 山本 壽夫

1. はじめに

バーチャル化とは、仮想化と呼ばれるものでコンピュータシステムを構成する様々な資源(CPU、メモリ、ストレージ、OSなど)を、物理的な構成とは独立に論理的な単位に編成することである。複数の資源を統合して一つに見せかけたり、一つの資源を分割して複数に見せかけたりすることができる。主に医療に使われてきたが、今では都市建設・ショッピング・動画配信など様々なものに使われるようになってきた。元々、日本の古代都市である平城京および平安京などは中国の風水思想に基づく理想郷を目的としている理想郷を目的とし都市を計画してきた。中世期よりユートピア思想に基づき、新たな理想とする街づくりを行った。それらの内容を前提とし、私は風水思想やユートピア思想と現在を結び付け、バーチャル世界に繁栄し理想郷としてのあり方を検討する。まずは地域コミュニティから形成していきたいと考える。

2. 先行研究

私は幸せな世界とは、子ども・成人・老人が相互にコミュニティを形成する世界であると考えている。

先行研究として次の項目に関する研究を前提とする。

(1) 地域コミュニティについて

(2) コミュニティ形成について

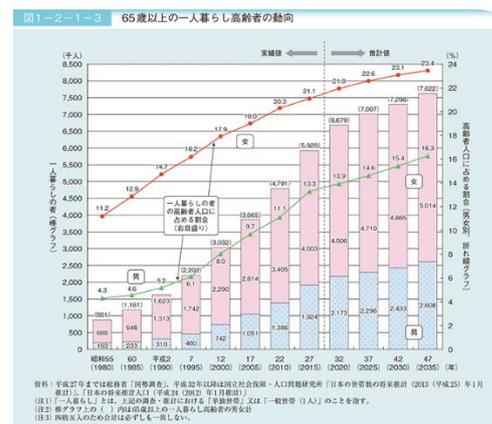
上記の(1)では、『地域コミュニティと近所づきあいの現状表』(研究開発室 宮

木 由貴子) で表せる。(2)では、『地域コミュニティ形成における多世代交流の意義と大学の役割』(須賀由紀子/実践女子大学生生活科学部紀要/54 巻/2017-03-10 発行) で表せる。

3.現状分析

先行研究をもとに、現状分析を行った。

●地域コミュニティ問題：高齢化一人暮らし
高齢化一人暮らしの割合ついて調べた。



(出典：<https://yurulife.xyz/archives/66>)

このグラフから高齢者一人暮らしの人が年々上昇しているのが読み取れる。

●地域コミュニティ問題：両親共働き
両親が共働きしている家庭について調べた。

(2011年調べ)



(出典：

www.stat.go.jp/koukou/cases/cat4/fact4.html)

このグラフから共働き世帯が年々上昇していることが読み取れる。

●学童保育数・入所児童数

年	学童保育数と入所児童数の推移		学童保育数と入所児童数の増え方
	学童保育数	入所児童数	
1993	7,516	231,500人	
1998	9,627	333,100人	1997年児童福祉法改正、1998年施行 1993年からの5年間で学童保育数は2,100か所増加し、入所児童数は10万人増加（年平均2万人増）
2003	13,797	538,100人	1998年からの5年間で学童保育数は4,200か所増加し、入所児童数は20万人増加（年平均4万人増）
2006	15,858	683,476人	2003年からの3年間で学童保育数は2,060か所増加し、入所児童数は15万人増加（年平均5万人増）
2007	16,668	744,545人	入所児童数が1年間で6万1000人増加
2008	17,495	786,883人	法制化後10年で7,890か所増、入所児童数は45万人増
2009	18,475	801,390人	自治体などの入所抑制で潜在的な待機児童が増加
2010	19,744	804,309人	大規模施設の新設で、施設数は1200か所以上増加
2011	20,204	819,622人	入所児童数は約2万3000人増
2012	20,846	846,967人	入所児童数は約2万人増
2013	21,635	888,753人	入所児童数は約4万人増

注1) 全国学童保育連絡協議会調査。詳細な実態調査は5年ごとに実施。入所児童数の全数調査は、2006年から実施。それ以前は概数。
注2) 2011年調査には、岩手県・宮城県の沿岸部および福島県の原発30キロ圏内にある34市町村は調査に含まれていません。また、2012年調査には福島県内の避難している9町村は調査に含まれていません。

(出典：

<https://resemom.jp/article/2013/08/06/14678.html>)

この表から入所児童数が年々増加していることがわかる。

4.問題点

- ・高齢者一人暮らし数が年々上昇している。
- ・両親が共働きの世帯が年々増加している。
- ・学童保育数・入所児童数が年々増加している。

5.対応策

- ・現実世界で喋った言葉がバーチャル世界で浮かぶようにする。

- ・話している相手の姿がバーチャル世界で表示することで目の前にいるような感覚にさせる（子どもの場合親が目の前にいるような感覚にさせる）

6.検証

本研究では、ケーススタディ方式を前提とし事業シミュレーションを行い検証する。

7.おわりに

本研究では、バーチャル世界を用いてまずは地域コミュニティを形成し活性化させ人々が幸せと思えるような理想郷に近づけていく。

8.参考文献

- ・1人暮らしの親を見守る（URL：<https://yurulife.xyz/archives/66>） 閲覧日 2018/10/16
- ・なるほど統計学園高等部（URL：www.stat.go.jp/koukou/cases/cat4/fact4.html） 閲覧日 2018/10/16

・Resemom/学童保育数は最多の2万1,635か所、待機児童数は推定40万人超/工藤めぐみ

(URL:<https://resemom.jp/article/2013/08/06/14678.html>)
閲覧日 2018/10/16

- ・宮木由貴子(2010)「地域コミュニティと近所づきあいの現状」
- ・須賀由紀子/「地域コミュニティ形成における多世代交流の意義と大学の役割」/実践女子大学生活科学部紀要/54巻/2017-03-10発行)